（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	きららドリーム沢良木

公表日 2026年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	特性やその日の活動に応じて、2部屋使用している。狭い空間だが、仕切りや家具の配置で過ごしやすい環境を整えている。	定期的に、物の整理などを行い、室内が広く取れるようにする。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	児童が安全に過ごせるように職員を適切に配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	60%	40%	毎回やるとなると、時間的に問題があるため、実施しるのだけよりと配慮を設置している。コーナーコーナーを使用し、視覚に配慮するようにしている。スケジュールや絵カードの使用、部分な場面の視覚やクールダウンスペースの確保をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごける環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	ジアイーノ、プラズマクラスターを導入し、換気も行っている。日々児童が帰った後は、毎日清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	室内に仕切りをつくり、いつでも利用できるようにしている。別室も利用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（計画策定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	非常勤職員も含め、全員で参加している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	会議で共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	面談等を定期的に行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%		今は行えていないため、今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	外部内部研修や、現場のOJTトーニング研修も取り入れている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	年に１回、作成公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	面談や会議を行って作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	面談や会議を行って作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	アセスメントは決まったツールを使用し、児童の支援に活かしている。	
	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	複数の職員が関わり、活動プログラムを作成している。	
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	ガイドラインや季節も取り入れ立案している。	
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	しっかり時間をとり、打ち合わせ、準備を行っている。	
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	全員で振り返りを行い、次回の支援に活かせるようにとりくんでいる。	
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	サービス提供記録簿面に、細かく記録している。	
	22	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	23	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	活動の立案時に必ずガイドラインにそった活動を組み入れている。	
	24	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	支援前や振り返り時に確認を行い、自己選択自己決定できるような支援を行えるように取り組んでいる。	
関係機関や保護者との連携	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	26	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	送迎時や必要な場合は、電話連絡等を行い情報共有している。	児童のみで待ち合わせ場所になる場合は、学校との共有が難しい場合もあるため、必要に応じて対応していく。
	27	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%		今は機会がなかったが、今後必要に応じて行っていく。
	28	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	90%	10%	積極的に参加し、情報提供している。	
	29	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	60%	40%		今年度については、研修は受けることができたが助言を受ける機会を持つことができなかった。積極的に取り組んでいく。
	30	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%		隣の公園活動時に、関わりがあるくらいで、設定して関わることは難しかった。
	31	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%		会議、研修等で時間が合わず参加ができていない。調整し、参加できるようにしていく。
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や面談時などに伝え合う機会をもっている。	
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60%	40%	面談時などに個別に情報提供を行っている。	家族支援などはできなかったため、次年度は実施できるように取り組んでいく。
保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に説明を行っている。	
	35	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	36	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	定期面談時や必要に応じて別途面談の機会をもっている。	
	37	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%		開催頻度やテーマなど、職員間で意見を出し合い、多くの方に参加いただけるような保護者会を開催していく。
	38	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	39	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月に１回おたよりを作成し、配布している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	41	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%		以前は行っていたがコロナ化以降できていないため、考えていく。
非常時等の対応	43	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	ホームページ上で年度初めに公表している。	
	44	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	年間計画に基づき、訓練を行っている。	
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	46	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	70%	30%		
	47	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	48	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	49	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	その都度振り返り時に共有を行ったり、回覧などで全員に周知できるようにしている。	
	50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に委員会や研修を行い、全員に周知している。	
	51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		